

2026 年 8 月 31 日
株式会社新日本科学

<https://www.snbl.com>

(証券コード:2395 東証プライム)

温室効果ガス排出量の第三者検証を実施 － SSBJ 基準を見据え、連結ベースでの環境データ管理・開示体制を強化 －

株式会社新日本科学（本社：鹿児島県鹿児島市、代表取締役社長：平間英之）は、2026 年 3 月期の温室効果ガス排出量等について、国際規格である ISO14064-3:2019 に基づき、SGS ジャパン株式会社による第三者検証を実施し、検証意見書を取得しました。

本検証では、Scope1（自社による直接排出）、Scope2（購入した電力等による間接排出）に加え、サプライチェーンにおける排出を示す Scope3 を対象としています。また、温室効果ガス排出量に加え、取水量・排水量についても第三者検証を実施しました。これらの環境データについて、連結ベースでの算定・開示および第三者検証を行うことで、グループ全体での環境データの信頼性と透明性の向上を図っています。

当社では、SSBJ（サステナビリティ基準委員会）が公表したサステナビリティ開示基準や SBT（Science Based Targets）などを踏まえ、将来の法定開示や第三者保証の取得に対応するため、連結ベースでの環境データの管理・開示体制の整備に加え、データの集計から第三者検証に係るスケジュールの早期化を進めています。その結果、今回の検証意見書を前回より約 1 か月前倒しで取得できました。今後もさらなる体制強化を進めてまいります。

当社は、「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」と掲げた企業理念、「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」というスローガンのもと、企業の持続的成長にはサステナビリティの推進が重要であることを認識し、経済的利益と社会的利益を一体として創出してまいります。

※詳細につきましては、[検証意見書](#)をご確認ください

（検証範囲）

検証対象：Scope1、Scope2、Scope3、及び取水量・排水量

対象期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
(株)新日本科学 IR広報統括部
TEL: 03-5565-6216
E-mail: ir@snbl.com